安芸高田市林務担当者と苗づくりについて学びました

令和２年８月１９日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、令和元年度に森林経営管理制度が運用されたことを踏まえ、昨年度から市町林務担当者の技術向上等を目的とした勉強会に取り組んでいます。

これまで、森林の持つ多面的機能、日本の森林・林業・木材産業の現状、森林施業などに関する勉強会のほか、列状間伐、森林作業道作設に関する現地検討会を実施してきました。今年度においても、この取組を拡大展開していくこととしています。

今年度第１回目の勉強会を８月 19 日、安芸高田市農林水産課、安芸北森林組合の林務担当者を対象に「広島県の苗づくり」をテーマに行いました。

まず始めに広島県林業課の「広島県の育種事業、採種園、採穂園の状況について」、「苗づくりのスケジュールと留意点について」の講義に続き、広島県樹苗農業協同組合が「樹苗農協の紹介と苗木の需給の仕組みについて」の講義を行いました。その後、安芸高田市高宮町にある浜田樹苗園の苗畑に移動し、実際の作業内容、手順などについて学びました。

県庁林業課の説明を聞く林務担当者

苗づくり作業の説明を聞く林務担当者

苗づくり作業の説明を聞く林務担当者

スギコンテナ苗（浜田樹苗園苗畑）

現場実習先の浜田樹苗園の苗畑

参加した安芸高田市の担当者からは、「後継者問題はあるのか。」「コンテナ苗の重要は、今後も伸びていくのか。」などの意見がありました。

広島北部森林管理署では、このような取組を通じて市町の林務担当者の技術向上の支援に取り組むとともに、併せて地域の森林・林業の再生に向けた課題の把握と、それらの解決について、民国連携した取組みとなるよう、引き続き取り組んでいきます。